



環境学習サポーターの指導のもと水質実験を行う6年生(南小体育館)

南小学校にエコムーブ車が来校

南小学校に7月6日、エコムーブ車が来校、「動く環境教室」を開催しました。

これは、南小学校PTAが主催する親子学習で6年生のPTAが「環境について親子で学ぼう」と企画したもので、リ



南小に来校したエコムーブ車

サイクルに取り組んでいる「マンマの会」で活動されているPTAの金井千栄子さん(森下上)が提案し実現。教室では、地球温暖化や身近なゴ

ミ問題、利根沼田の川の水質についての話のほか、身の周りの水質を調べる実験、使用済み油を使用した石けん作りなどを体験。

水質の実験では、水に薄めたジュースやしょう油、小学校のプールの水を調査、水の汚れについて調べました。

エコムーブ車は、屋根に太陽光発電装置を取り付け、天然ガスで走る2トントラックで、大気や水質、騒音等の調査測定機器など環境実験機器が搭載され、県に登録された環境学習サポーターが学習をサポートしています。

青少年健全育成大会を開催

昭和村青少年健全育成大会が7月18日、公民館で開催されました。

これは、青少年に係わる諸団体が一堂に会し、青少年の健全育成に関する施策・事業の推進を目的として、村や教育関係者、民生児童委員などで組織する昭和村青少年問題協議会が主催。子どもたちが夏休みを迎えるこの時期に毎年行われているものです。

大会ではまず、10月1日から施行される「群馬県青少年健全育成条例」について、新たに設けられた禁止行為や制限行

為、罰則などについて、県青少年こども課職員が説明。

次いで、村内小中学校を代表して、東小学校飯塚忠男校長が学校での青少年健全育成の取り組みについて報告。チャレンジウィーク(就業体験)などの学校外での活動や、子ども安全協力の家など安全対策の取り組みについて報告が行われました。

また、村駐在所長・井田警部補より情報交換として、不審者情報や村内事件についての報告が行われました。



青少年健全育成の取り組みを発表する飯塚校長

県赤十字献血センターが献血を実施

群馬県赤十字献血センターでは7月5日、村内2か所で献血を実施しました。

献血が行われたのは、J A利根沼田久呂保支所と昭和村役場で、およそ40名の方々が献血に協力されました。

同献血センターでは毎年3回実施しており、今年度は、10月7日(日)に開催される昭和の秋まつり、平成20年3月4日(火)にも献血を実施します。



役場で行われた献血の様子



期待に胸を膨らませる3年生9名と英語指導助手 (ALT) のトッド・ジャクソン

昭中生ホームステイで壮行会

昭和中学校では7月26日、アメリカへのホームステイを8月3日に控えた中学生の壮行会を、村公民館で行いました。壮行会では、ホームステイに参加する9名が、それぞれの抱負を英語で発表。



訪問先で踊る八木節を披露

「アメリカの文化について学びたい」や「大勢の人と英語で話したい」などそれぞれの抱負を語りました。次いで、吉澤校

長が「コミュニケーションは気持ちが大切。気持ちに英語を乗せて相手に伝えてほしい。昭和村の代表として、すばらしい経験をしてきてください」と生徒を激励。壮行会後は、生徒たちがホームステイ先で踊る八木節を披露しました。ホームステイに参加する生徒：宮下 巧 大君（永井）、金子 将也君（大河原）、菅江 友樹君（追分）、星野 朋見さん（追分）、綿貫 千優さん（森下下）、星野 真弓さん（三ツ谷）、林 英理奈さん（中野）、野上 愛菜さん（鎌沢）、星野 理緒さん（藤井）

ぐんま網の目トークを実施

J A久呂保レタス部会（佐々木正則会長）では7月31日、県の山本農業担当理事を迎え、ぐんま網の目トークをJ A利根沼田久呂保支所で行いました。

ぐんま網の目トークは、県民の中にある問題意識や政策の要求などを、県の施策に反映させることを目的として実施されているもので、レタス部会ではレタスの販売促進の勉強会を兼ねて県に申請し実現。部会員6名が参加しました。農地不足の問題や価格安定制度、契約栽培や鳥獣被害など様々な内容について山本理

事や県職員らと話し合いを行いました。話し合いの中で参加者らは、レタス農家の抱える問題として、夏のレタスの評価が他の産地と比べて落ちてしまう事をあげ、「夏場の問題をクリアできれば昭和村は良いレタスの産地になる。標高1千メートルの土地を活用できないか」といった意見や、「婦恋のキャベツだけでなく、昭和のレタスについても、県で積極的にPRできないか」など、問題点や県への要望など活発に意見交換を行いました。



県職員と活発な意見交換を行う参加者

婦人会が

サルビア植えを実施

婦人会（遠藤初代会長）では、7月10日、古宮追分線沿い村総合運動公園北口付近でサルビアの苗を植えました。

これは、村民運動会の時期に合わせて、道路をサルビアで美しく飾ろうと、婦人会が毎年実施。

参加された婦人会のみなさんは雨が降る悪天候の中、サルビア植えに汗をながしました。



雨の降る中作業を行う婦人会員

職員人事(平成19年8月1日付)

企画課

▼主査

諸田恵一 (産業課)

産業課

▼主任

小野一志 (企画課)